

「肝腫瘍（良性、悪性[転移性含む]）に対する 肝切除術の安全性と長期予後の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2020 年 3 月 18 日から 2022 年 3 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

肝癌は予後不良の疾患であり、世界的には悪性 新生物の中では死因の第 2 位となっています。肝癌は、肝そのものから発生する原発性肝癌と、他の臓器で発生した癌が転移してくる転移性肝癌の 2 種類に大きく分かります。我が国の原発性肝癌死亡者数は 2000 年代前半を最多として、その後は緩徐に減少しつつあります。しかし、いまだ年間粗死亡数が 3 万人を超えており、疾患対策上極めて重要な疾患です。また、高齢化に伴い、各種の癌が増加しており、転移性肝癌も増加しています。転移性肝癌においては切除の可否が予後を決めるものとなり得るため、転移性肝癌に対する積極的な治療も必要となります。

本研究の目的は、当科における肝切除術の治療成績を把握し、予後因子や治療効果や合併症予測因子を調査、検討することです。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2005 年 1 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の間に、肝切除術を施行した肝腫瘍の患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、身長、体重、既往歴、手術日、診断内容、治療内容、検査内容、再発の有無などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・藤川 貴久の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので

お申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 外科 担当者 内藤 滋俊

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）